

ZEB関連技術実証棟

➤ 今後の需要拡大が見込まれるZEBに対応する省エネ技術の開発を加速

三菱電機は省エネ性に優れた快適な居住空間の実現に向けた取組の一環で、ZEB(net Zero Energy Building)関連技術の実証棟『SUSTIE（サスティエ）』を2020年から運用中。



ZEB関連技術実証棟『SUSTIE』

1. 高効率機器を導入

三菱電機ならではの高効率機器導入により、消費電力を大幅に抑制。

2. 自然エネルギーを活用

太陽光だけでなく自然風も用いて、ZEBの性能をさらに向上。

3. ビル・シミュレーション技術を導入

消費エネルギーや快適性を高精度に予測。効率的にビルを運用。

4. 健康性・快適性の追求

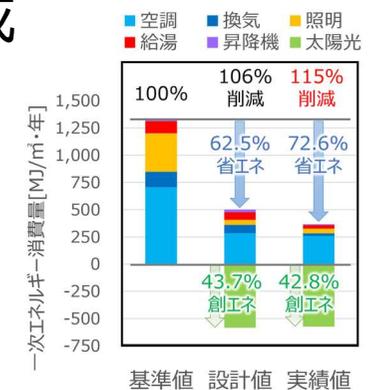
省エネ性と健康性・快適性を高度なレベルで実現。

『SUSTIE』に導入されている高効率機器



➤ 創エネルギー量が消費エネルギー量を上回り、『ZEB』※1を達成

1年間運用した結果、一次エネルギー消費量の基準値比115%削減を達成。建物上だけに太陽光パネルを設置した延べ床面積6456㎡、4階建て中規模オフィスビルの構成である『SUSTIE』は、敷地面積に余裕がない都市部でも『ZEB』を達成し、そのうえで快適で働きやすい環境を実現できることを実証。



※1 年間の一次エネルギー収支がゼロまたはマイナスの建築物。ZEBの定義における最高ランクの評価